

別居、離婚後の子どもの幸せを第一に！！

日本では、ここ20年近く、年間20万件以上の離婚が成立しています。離婚に関して我が国では、「単独親権」と「協議離婚」を軸としているため、多くの離婚において子どもの利益について具体的な検討の機会がなく、結果として、社会通念を反映した母親優先の単独親権指定となっています。このような状況は、離婚後の父親との断絶やシングルマザーによる子育て負担、母子家庭の貧困を招くことにつながっています。

離婚の制度は国の議論ですが、様々な相談や手続を行う窓口となるのは基礎自治体です。現行制度の中で、子どものために何が出来るかを模索していかなければなりません。

板橋区では、男女平等推進センターや区民相談室、福祉事務所などでも相談事業を行っていますが、もう一步踏み込んだ対応が望ましいと考えています。離婚を決意した後ではなく、最初に離婚を考えた段階でのフォローなど、他地域の先進事例を参考に、板橋区でも必要なサポート事業を展開できるよう、今後も取り組んでまいります！

※面会交流
子どもと離れて暮らしている父母の一方が子どもと定期的、継続的に、会って話をしたり、一緒に遊んだり、電話や手紙などの方法で交流すること



日本の先進事例		
自治体	事業名	内容
東京都港区	親子交流コーディネート	面会交流の日程、場所などをスタッフがサポート
兵庫県明石市	養育費緊急支援	受け取れていない養育費を市が立て替え
	親子交流サポート	面会交流の場として天文科学館を無料で利用可能
	親子交流コーディネート	面会交流の日程、場所などをスタッフがサポート
	養育費取り決めサポート	公的書類(調停調書、公正証書等)の作成を支援

各国の離婚制度 ※各国で詳細は異なります					
国	アメリカ	カナダ	シンガポール	韓国	ドイツ
離婚制度	裁判離婚	裁判離婚	裁判離婚	協議離婚 熟慮期間あり	裁判離婚
養育費、面会交流の取り決め	養育計画で合意する	養育計画の提出義務	合意形成を義務付け	協議書を提出	様々な機関が合意形成を支援

板橋区議会議員

おばた 健太郎

小幡

民主クラブ (立憲民主党・国民民主党)

区政レポート vol.7



会いに行きます！！

おばけんの政策！！

- 1 「生きる力」を育む教育を！
児童・生徒の学力向上を進めます
- 2 子育てしやすさNo1の区に！
今度こそ待機児童ゼロを実現します
- 3 災害に強い街づくりを！
現実に即した防災訓練を実施します
- 4 風通しの良い板橋区に！
積極的な情報公開を行います
- 5 行政のオンライン化促進！
行政サービスのIT化を更に進めます

新型コロナ対策、引き続き頑張ります！

これまで1年以上にもわたり、新型コロナウイルスは私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。今後は円滑なワクチンの接種や、混乱をきたしている経済活動の復旧など、行政がしっかりと進めていかなければならない課題が山積しております。板橋区においてもこれまでに8度、補正予算を組み、様々な対策を行ってきました。区の政策では、成果が出たものもあれば、まだまだ不十分なものもありますが、皆さまから頂いた様々なご意見を参考に、引き続き板橋区に積極的な提案を行ってまいります。このような状況ですので、私のキャッチフレーズでもある、皆さまの元まで「会いに行きます！」ということはなかなか難しいですが、電話やFAX、インターネット等、様々なチャンネルを通じて、ご意見を聞かせて頂ければと考えています。これからも地に足をつけて活動してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。



YouTube



おばけんチャンネル始めました！！

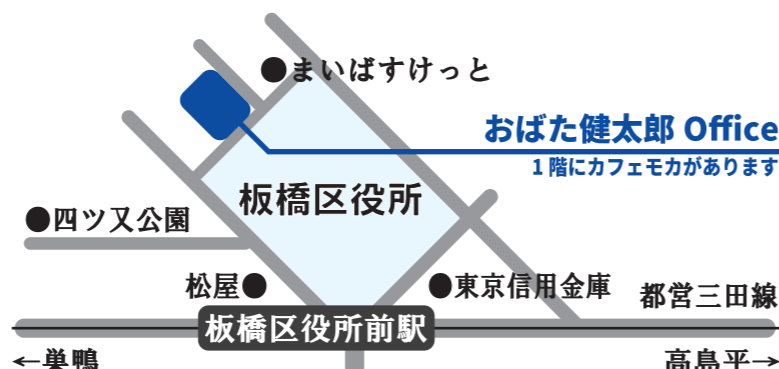
▶ 板橋区の様々な情報を発信するチャンネルを始めました！板橋区内のキャッチボールできる公園を同期の渡辺区議と一緒にまわりました。これからもどんどん配信していくのでお楽しみに！！チャンネル登録＆高評価よろしくお願いします！！

<https://www.youtube.com/channel/UC2HbRyVca4reQOoihcDkQTW>

ご連絡はこちらまで！！

おばた健太郎事務所

〒173-0004
東京都板橋区板橋 2-64-10 板橋新生ビル 301
TEL : 03-6909-6531
FAX : 03-6385-7640
MAIL : info@obaken.com
URL : http://obaken.com
Twitter : @obaken20j
Facebook : @obaken1977



プロフィール

- 1977年(昭和52年)生まれ、板橋区加賀在住。IT企業に10年勤めた後に退職。代議士秘書を経て、板橋の暮らしをより良くするために政治家を志す。地域のPTA、おやじの会、消防団、まちづくり協議会などに参加し、積極的に地域活動に取り組む。
- 妻、息子(14歳)、娘(9歳)の4人家族。
- 石川県金沢市出身。星稜高校、筑波大学第一学群自然科学類物理学専攻卒。武蔵野音楽大学別科修了(声楽)



趣味：声楽、男声合唱、ピアノ、読書、弓道、サイクリング
やりたいこと：区民の皆さん全員に会いに行くこと
板橋の好きな場所：石神井川の桜並木

所属

- 板橋区議会
- 常任委員会 企画総務委員会
政策の総合的な企画や調整及び評価、財政、広聴及び広報、ITの推進及び情報処理、情報公開及び個人情報保護、公文書等の収集・保存及び公開、男女平等参画の推進、宮繕、職員進退及び身分、財産及び契約、区税、防災及び危機管理、公有財産・物品の管理運営、選挙管理、監査事務、他の委員会に属さないこと
 - 特別委員会 災害対策調査特別委員会
災害対策に関する調査

地域団体

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 板橋区立金沢小学校 PTA会長 | 声楽家 加茂下穂 門下生 |
| 板橋区立金沢小学校 おやじの会 | 板橋区混声合唱団 団員 |
| 板橋消防団 第一分団 副分団長 | 板橋宿不動通り商店街青年部 会員 |
| 加賀まちづくり協議会 会員 | 板橋茨城県人会 幹事 |
| 板橋石川県人会 役員 | NPO法人ピースオブファミリア 監事 |
| 板橋法人会 会員 | NPO法人政策学校一新塾 22期生 |
| 板橋法人会青年部 会員 | 小沢一郎政治塾 11期生 幹事長 |
| 加賀五四自治会 防災副部長 | 特定非営利活動法人 未来文化基金 会員 |

第二回定例議会
一般質問

- ①新型コロナ対策
 - 1.アーティスト支援
 - 2.発表会、展示会の開催
 - 3.商店街支援
 - 4.情報伝達方法
- ②教育
 - 1.GIGA スクール構想
 - 2.サポート体制
 - 3.キャッチアッププラン
 - 4.再度休校措置の場合は
- ③聴覚障害児童への支援
 - 1.サポートへの認識
 - 2.中学の難聴学級
- ④JR 板橋駅前まちづくり
 - 1.住民の声を聞く機会
 - 2.バス路線
 - 3.区長の説明

第三回定例議会
総括質問

- ①防災リーダー
 - 1.役割について
 - 2.防災リーダーの活躍
 - 3.防災リーダーの地位向上
 - 4.情報伝達方法
- ②GIGA スクール構想
 - 1.ICT 支援員
 - 2.サポート体制
 - 3.スキルトランスファー
 - 4.スケジュール
- ③アクティブラーニング
 - 1.認識、課題
 - 2.授業スタンダード
- ④子どもたちの遊び場
 - 1.遊び場
 - 2.キャッチボール
 - 3.公園の表現緩和
 - 4.校庭利用について
- ⑤芸術分野
 - 1.ストリートピアノ
 - 2.クラウドファンディング

第一回定例議会
一般質問

- ①新型コロナ対策
 - 1.PCR センター
 - 2.ワクチン接種
 - 3.予約システム
 - 4.副反応の対応
 - 5.広報活動
- ②子ども養育支援
 - 1.現状認識
 - 2.体制強化
- ③コグニティブトレーニング
 - 1.認識
 - 2.コグトレ導入

2020年
6月

第2回 定例議会

一般質問

新型コロナ対策（アーティスト支援について）

おばた：板橋区として区内在住のアーティストに対してどのような支援をおこなうのか？

区長：区にゆかりのあるアーティスト情報を収集しPRする取り組みを始めた。活動機会の拡充につなげる支援を図る。

その後→区内アーティストの動画配信に対して10万円の出演料支払いを行う「アーティストバンクいたばし」を実施！！



新型コロナ対策（商店街支援について）

おばた：活力あるまちづくりのために、さらなる拡充を求めるが見解は？

区長：区内店舗「応援&助け合い」特設ページを公開し、利用を促している。また、区内事業者の支援策の拡充について、検討を進める。

その後→ 1. キャッシュレス決済ポイント還元事業決定！！区内店舗でPayPayキャッシュレス決済を行うことで、最大20%ポイント還元を実施(10/1~11/30まで)
2. 区内商店街に6000円×店舗数×3か月分をコロナ応援金として支出！！



小中学校タブレット導入について

おばた：区内すべての小中学校に一人一台のタブレット端末が導入される。それを用いてどのような教育を行うのか。また教員へのサポート体制は。

教育長：各校にICT支援員を配置する。また各校1名以上の教員をICT推進リーダーとして指定した上で、研修を実施し、教員を育成していく。

聴覚障害児童への支援について

おばた：中学生の聴覚障害児対象の特別支援学級がない。障害をもつおさんは区外の中学に進学しており、他区に支援を任せている状況は至急改善すべき。小学校の難聴学級に中学生も通えるようにしては？

教育長：聴覚障害のある生徒への支援が十分でないことは認識している。小学校での中学生への指導は、教員の確保や教員免許が課題。中学校での教室の設置は工事費、運営費などに課題がある。様々なニーズに対応できるよう研究していく。

2020年
10月

第3回 定例議会

総括質問

区民防災大学、防災リーダーについて

おばた：防災リーダーが継続して学ぶ仕組みを構築し、証明書などを発行することを提案するが、見解は？

危機管理室長：証明書を発行することも一つの方策。今後検討していく。

その後→2021年4月から防災リーダーに証明書を発行することを決定！！



ICT教育について

おばた：ICT機器は導入費用、ランニングコストともに非常に高額になる。無駄にしないためにも早め早めのスケジュール検討をすべきと思うが。

教育委員会事務局次長：4月に導入しても学校で使用するのが9月となるため、環境を早く整えていきたい。



アクティブラーニングについて

おばた：対話的で主体的な深い学びである、アクティブラーニングを進めるためにも、教師の自主性を尊重した授業計画を後押しすべき。

教育委員会事務局次長：各学校の教育目標や児童・生徒の実態を踏まえながら、教員の質・能力の向上を図ることを支援していく。

キャッチボールできる公園整備について

おばた：公園内の野球、サッカー禁止という表現は緩和してはどうか。

土木部長：区立公園内のボール遊びは、禁止しているわけではないが、周りに配慮した利用のために青色パトロールによる指導やマナー向上に努めていく。

文化芸術支援の環境整備について

おばた：誰もが気軽に弾くことができるストリートピアノを設置してはどうか。クラウドファンディングの活用も検討すべき。

区民文化部長：各地に展開されていることは認識している。ピアノの確保、管理、環境への影響など課題があるが、総合的に判断していきたい。



2021年
2月

第1回 定例議会

一般質問

新型コロナ対策（ワクチン接種について）

おばた：ワクチン接種体制をいち早く確立し、準備を整えなければならない。区長の見解は。

区長：接種開始までにあらゆる事態を想定し、万全の準備をするよう、全力で取り組む。



新型コロナ対策（ワクチン接種の予約について）

おばた：一般的である集団接種と、区民各々のかかりつけ医による接種の速やかな情報連携のため、区全体で一括の予約システムとすべき。区全体で一括予約システムにするべきでは。

区長：各医療機関と連携しながら、区民が利用しやすい予約体制を検討する。出来るだけ、利用しやすい予約体制を検討する。



離婚・別居後の子ども養育支援の充実を

おばた：面会交流のコーディネートや、養育費の取決めサポートなど一歩踏み込んだ支援をすべき。

区長：各部署が連携して相談と支援を行っているが、他自治体の事例などを注視し、区としての支援策を研究する。

すべての小・中学校で
コグニティブトレーニングの導入を

おばた：「ケーキの切れない非行少年たち」を書いた宮口幸治さんが認知機能にハンディキャップを負い、困難を抱えている児童・生徒への支援として開発されたコグニティブトレーニング（コグトレ）が広がっており、全国の小中学校で導入が始まっている。子どもの認知トレーニングとして非常に効果の高い、コグトレを板橋区の小中学校でも導入すべき。

教育長：認知機能において困難を生じている児童・生徒に適切な支援が重要であると認識している。教育活動全体を通して認知機能を高める取組みを実施している。コグトレの導入は、今後、研究していく。

